

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公開番号】特開 2020-29370 (P2020-29370A)

【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-008

【出願番号】特願 2019-193078 (P2019-193078)

【国際特許分類】

B 6 5 G 47/46 (2006.01)

B 6 5 G 13/10 (2006.01)

B 6 5 G 47/68 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 47/46 C

B 6 5 G 13/10

B 6 5 G 47/68 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 6 日 (2020.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 シャフト (2) と、前記第 1 シャフトの周囲を回転する回転体であって、前記第 1 シャフトの軸に対してある角度傾いた回転軸を有する第 1 回転体 (11) と、前記第 1 シャフトと前記第 1 回転体との間に位置し、前記第 1 回転体を回転可能に支持する第 1 支持体 (3) と、前記第 1 回転体を回転駆動させるための第 1 駆動体 (4) と、を備えた分岐装置であって、

前記第 1 支持体は、前記第 1 シャフトと前記第 1 回転体との間に位置する円盤であって前記第 1 回転体と同心円の第 1 傾斜円盤 (32) と、前記第 1 傾斜円盤の外周に位置し、前記第 1 傾斜円盤に対して前記第 1 回転体を回転可能に支持する第 1 回転機構 (81) とを備え、

前記第 1 回転体の回転軸に平行な方向の前記第 1 回転体の厚みが、前記第 1 回転体の回転軸に平行な方向の前記第 1 傾斜円盤の厚みより厚いことを特徴とする分岐装置。

【請求項 2】

前記第 1 回転体 (11) と前記第 1 駆動体 (4) とが互いに接する部分において押圧力がかかり、前記第 1 駆動体 (4) の回転が前記押圧力及び摩擦により前記第 1 回転体 (11) に伝搬することを特徴とする請求項 1 に記載の分岐装置。

【請求項 3】

前記第 1 回転体 (11) と前記第 1 駆動体 (4) とが互いに接する部分における前記押圧力及び慣性モーメントを利用したことを特徴とする請求項 2 に記載の分岐装置。

【請求項 4】

前記第 1 支持体 (3) の傾斜方向が変化することによって前記第 1 回転体 (11) の最大外周部の高さ位置が変化することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の分岐装置。